

おとなも子どもも、
こんな学校に
行きたかった！

監督：オオタ ヴィン

「いただきます」シリーズ

ナレーション
吉岡秀隆

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ

夢みる小学校

「自分のままでいいんだよ」

ありのままの自分でいられる、子どもファーストな学校とは？

わくわくがとまらない 希望あふれる”ミライの教育ドキュメンタリー”

出演：堀 真一郎、茂木 健一郎、尾木 直樹、辻 信一、高橋 源一郎 ほか

文部科学省選定

家庭向き 令和3年12月20日

2023年7月2日(日) 映画上映会

大津市民会館小ホール 12:30 開場 13:00 開演



「学校」はこんなに楽しい場所でした。

激動のAI時代に対応するため、2020年度から学習指導要領が、「アクティブラーニング(探求学習)」に大きく舵を切り、日本の公教育が揺れています。30年前から「体験学習」を実践している先進的な学校があります。宿題がない、テストがない、「先生」がいない、「きのくに子どもの村学園」です。この学校のスローガンは、「まず子どもをしあわせにしよう。すべてはそのあとに続く」。60年以上成績通知表がない「総合学習」を続ける伊那市立伊那小学校。校則ゼロ、定期テストをやめた、世田谷区立桜丘中学校の西郷孝彦前校長。本作には、子どもファーストな3つの学校が登場します。

ナレーションは、ドラマ「北の国から」の名優 吉岡秀隆。エンディングテーマは、ザ・ブルーハーツの「夢」。全国1000箇所で見られた映画「いただきます」オオタヴィン監督が「教育」をテーマにエモーショナルな映像で描きます。わくわくするシーンの連続、童心に帰ったような初々しい感動。「ミライの教育」を探る 感涙のドキュメンタリーです。

予告編見てね!



ナレーション
吉岡秀隆



映画出演者コメント

子どもも楽しい、教師も楽しい。体験学習を楽しみながら「考えるチカラ」が身につくのです。

体験学習は、前頭葉を発達させ、非認知能力を高め、しなやかな脳のネットワークを作ります。

この映画は、「教育の本質」をみせてくれます。「子どもファーストの学校」の姿を、みてください。

意味のない校則は子どもの考える力を奪うので無くしました。公立学校も、実は、かなり自由なんだよね。



堀 真一郎
(きのくに子どもの村学園学園長)



茂木 健一郎
(脳科学者)



尾木 直樹
(教育評論家)



西郷 孝彦
(世田谷区立桜丘中学校 元校長)

エンディングテーマ
ザ・ブルーハーツ



あなたの町でも「夢みる小学校」を上映しませんか？
お申し込みは、まほろばスタジオ▶



7月2日(日)「夢みる小学校」上映会&座談会

★会場：大津市民会館 小ホール
滋賀県大津市島の関 14-1
★日時：12:30 受付開始
13:00 映画上映会
15:00 座談会(希望者のみ)
16:30 終了
★入場料金：一般 1,200円
高校生以下 無料

★お問い合わせ
メール：i16322@outlook.jp
電話：080-4999-0505(主催者：宮武)

お申し込みはこちら→



～上映会に向けて～
今回の上映会のテーマは「こどもの魅力を知る」です。こどもはこんなにも自分たちで考えて、輝ける！この映画がきっと、こどもの持つパワーや実行力を知るきっかけになると思います。